

## NPO 法人 棚田 LOVER's ~棚田を愛し、棚田を育む~

永菅裕一 (NPO 法人棚田 LOVER's 理事長)

### 1. 活動目的・活動概要

棚田地域での農作業体験・援農活動や、都市地域、大学での棚田の多面的機能に関する普及啓発活動を行い、学生と地域、都市と農山村の人々が相互に理解し協力し合える関係を作りあげることによって、持続可能な循環型社会の創出に寄与することを目指しています。

活動概要としては、兵庫県を主として、市川町、神河町、姫路市、多可町、佐用町、香美町で田植え(5月)・稲刈り(9月)、大学や商店街で試食会の活動等を行っています。その活動の中で、ブランド化したおいしい棚田米を提供して、多くの方に喜んでいただいています。

### 2. 農作業体験(田植え・草刈り・稲刈り等)による棚田の保全・再生、地域活性化活動

兵庫県香美町、市川町の多くの生きものが存在する棚田で、農作業体験をすることにより、お米を作る過程を知り、生き物と触れ合い、いのちやお米の大切さを伝えることができればと思い実施しています。

また、農家の方の苦勞・収穫の喜び、自然への感謝・棚田のすばらしさを体感し、ふるさとへの愛着心を育む機会となっています。そして、稲刈りに参加した学生は「いただきますの大切さを改めて感じました」などの率直な感想を述べています。

### 3. 大学や商店街での棚田米試食会・販売等による都市農村交流活動

大学や商店街で、棚田米のおいしさや棚田の重要性を伝えることを目的に試食会を行っています。その活動の中で、「お米が甘くてそのままでもすごくおいしかった」、「また是非行ってください」、「こんなに味が違うとは思わなかった」、「生産者に感謝します」という参加者の感想もいただいています。また、商店街では、試食会だけではなく、地元の旬の野菜の販売、中学生によるエコ川柳の展示小学校の子どもたちによるふるさとの絵の展示、パネル・資料展示等も行っていきます。さらに、農作業体験に参加していただいた方から募集した棚田米の名前の投票も行い棚田舞(たなだまい)(棚田から夢と希望が舞い上がる)、段々美味(だんだんうまい)(段々になっている棚田から、段々とおいしい味がうまれていく)というブランド米を販売しています。

これらの活動を通じて、多くの人に都市と農村がつながる重要性を伝え、活動につなげていき、棚田の保全と活用、都市と農村の循環共生社会の創出を目指しています。

### 4. 2011年3月27日(日)にフォーラム開催

2011年3月27日(日)に姫路市の姫路総合庁舎内職員福利センターにて、塩見直紀さんをゲストに招き、「半農半Xから探るこれからの生き方~私たちは何をこの世に遺していくのか~」と題して、これからの生き方、未来の子どもたちに美しい自然環境・農・安心安全な食の大切さなど何を残していくかを考えるフォーラム開催します。

そのことにより、現状の課題、農村と都市のつながりを知り、自然環境・農・安心安全な食、棚田の重要性を学び、消費者・担い手拡大、現実の行動(棚田米・有機野菜の購入、農作業、環境保全活動等)につなげてもらうことを目的としています。このフォーラムや活動にご興味のある方は、Tel: 090-2359-1831 E-mail: tanadalove@yahoo.co.jp までぜひご連絡ください。HP <http://tanadalove.com/> もご覧いただければ幸いです。ご紹介させていただき誠にありがとうございました。



写真(左)兵庫県美方郡香美町小代区貫田うへ山の棚田 (右)田植え体験の様子